

機関番号：12301

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2007～2010

課題番号：19720103

研究課題名（和文）サ変動詞の意味・用法の記述的研究

研究課題名（英文）A Descriptive Study on the Meaning and Uses of VN-suru

研究代表者

小林 英樹 (KOBAYASHI HIDEKI)

群馬大学・教育学部・准教授

研究者番号：60312865

研究成果の概要（和文）：

本研究は、サ変動詞の意味・用法を詳細に記述したものである。本研究では、次のような動詞クラスを分析した。

- ・建てること（新築（する）、増築（する）、……）
- ・除くこと（除去（する）、排除（する）、……）
- ・火がつくこと（発火（する）、着火（する）、……）
- ・直すこと（修理（する）、修復（する）、……）
- ・連れて行くこと、ついて行くこと（引率（する）、随行（する）、……）
- ・運ぶこと（運搬（する）、運送（する）、……）

研究成果の概要（英文）：

The purpose of this study is to describe the meaning and uses of VN-suru in detail. The verb classes described in this study are as follows:

- ・BUILD verbs (sintiku-suru, zoutiku-suru, ...)
- ・REMOVE verbs (jokyo-suru, haijo-suru, ...)
- ・IGNITE verbs (hakka-suru, tyakka-suru, ...)
- ・REPAIR verbs (syuuri-suru, syuhuku-suru, ...)
- ・ACCOMPANY verbs (insotu-suru, zuihan-suru, ...)
- ・CARRY verbs (unpan-suru, unsou-suru, ...)

交付決定額

(金額単位：円)

| | 直接経費 | 間接経費 | 合計 |
|--------|-----------|---------|-----------|
| 2007年度 | 800,000 | 240,000 | 1,040,000 |
| 2008年度 | 200,000 | 60,000 | 260,000 |
| 2009年度 | 200,000 | 60,000 | 260,000 |
| 2010年度 | 400,000 | 120,000 | 520,000 |
| 年度 | | | |
| 総計 | 1,600,000 | 480,000 | 2,080,000 |

研究分野：日本語学

科研費の分科・細目：言語学・日本語学

キーワード：サ変動詞、漢語、意味、用法

1. 研究開始当初の背景

研究代表者は、これまで漢語サ変動詞（漢語動名詞）を中心に研究してきた。小林英樹（2004）『現代日本語の漢語動名詞の研究』（ひつじ書房）は、二字漢語サ変動詞（「読書（する）」、「殴殺（する）」など）、三字漢語サ変動詞（「再上陸（する）」、「映画化（する）」など）、四字漢語サ変動詞（「法律改正（する）」、「受注生産（する）」など）の語構成を詳細に分析したものであるが、その執筆の過程で、三字漢語サ変動詞、四字漢語サ変動詞の構成要素である二字漢語サ変動詞の意味・用法の記述がかなり遅れていることに気がついた。「集会があると共同募金の箱が回され、市民が快く募金する姿が見られる（朝日新聞 1987 年 1 月 30 日）」の「募金（する）」は、現行の国語辞典の記述（「寄付金などをつのること」）では捉えることができない。和語動詞に比べて、漢語サ変動詞（外来語サ変動詞）の分析は、かなり遅れている。

2. 研究の目的

研究の進展度に関する和語動詞と漢語サ変動詞（外来語サ変動詞）のアンバランスを解消するために、新聞などからデータを集め、サ変動詞の意味・用法を詳細に分析する。

3. 研究の方法

次のことを同時並行で行った。

- (1) サ変動詞のグループ分け
 - ・ 除くことを表すサ変動詞
除去（する）、排除（する）、
切除（する）、……
 - ・ 運ぶことを表すサ変動詞
運搬（する）、運送（する）、
搬送（する）、……
- (2) データの採取
サ変動詞（特に、漢語サ変動詞）が多く使われる新聞から、(1) で分けたグループごとにサ変動詞の実例を集める。
- (3) 先行研究の整理・検討
動詞の意味・用法に関する優れた研究である宮島達夫（1972）『動詞の意味・用法の記述的研究』（秀英出版）、柴田武他（1976）『ことば

の意味』（平凡社）などを検討する。

- (4) 情報収集
語彙に関する学会・研究会に参加し、情報収集をする。
- (5) 分析
(1) ～ (4) を踏まえて、(1) で分けたグループごとにサ変動詞を分析する。
- (6) 分析結果の発表

4. 研究成果

次のようなことを明らかにすることができた。

- (1) 建てることを表すサ変動詞について
①「増築（する）」には、(A) 今ある建物に付け加える「増築（する）」（「ビルは 69 年に鉄筋 4 階一部 3 階建てで造られ、5 年後に 4～7 階を鉄骨で増築した（毎日新聞 2003 年 3 月 17 日）」）、(B) 新しい建物を建てる「増築（する）」（「堺市緑町 3 丁の分工場も、現在の建物の隣に 3 階建ての建物を増築する（毎日新聞 2003 年 1 月 21 日）」）がある。
②一般の国語辞典では、「改築（する）」は、「建造物の全部、または一部をたてなおすこと」のように記述されている。しかし、「改築（する）」には、建て直しではなく、改修を表すものがある（「築 18 年の寮は今センバツ期間中に改築され元食堂や 48 人収容の大部屋も 3 人部屋になる（毎日新聞 2003 年 3 月 11 日）」）。改修を表す「改築（する）」は、「リフォーム（する）」と類義関係になる（「建て替えの話も出たが、峰岸さんは「家を残したい」という思いが強く、5 年前、内部をリフォームすることにした。外観と柱、梁（はり）はそのまま残し、棟続きの物置だった部分を峰岸さん夫婦、子供たちの生活の場に改築した（毎日新聞 1993 年 10 月 30 日）」）。
- (2) 除くことを表すサ変動詞について
①「除外（する）」には、ある範囲の中から動かして、ある範囲の外におく「除外（する）」、ある範囲の中に入れなくて、ある範囲の外におく「除外（する）」があるが、「排除（する）」についても同様である。「受け入れた以上、排除するのではなく、難民と共生する道を探すべきだ（毎日新聞 2003 年 11 月 20 日）」の「排除（する）」は、ある範囲の中から動かして、ある範囲の外におく「排除（する）」、

「改正案は難民をいかに受け入れるかでなく、いかに水際で排除するか重点を置いている（毎日新聞 2003 年 5 月 8 日）」の「排除（する）」は、ある範囲の中に入れないで、ある範囲の外におく「排除（する）」である。
②「また、県教委は藤村氏が関与した県内の旧石器遺跡 148 遺跡のうち、高森遺跡を含む 129 遺跡も旧石器時代の遺跡登録から削除する（毎日新聞 2003 年 3 月 29 日）」の「削除（する）」は「遺跡登録」から「高森遺跡を含む 129 遺跡」を取り除くこと、「だがその後、高森遺跡でもねつ造が確認され、県は今年 4 月、旧石器時代（約 1 万年以上前）の遺跡登録を削除した（毎日新聞 2003 年 5 月 19 日）」の「削除（する）」は「遺跡登録」を取り消すことを表している。

(3) 火がつくことを表すサ変動詞について

①「被告のやけどの場所などから、ガソリンにライターで着火しようとしたのは明らか（毎日新聞 2003 年 4 月 23 日）」では、デ格で標示された「ライター」がガソリンに火をつけるために使われているが、「ガス漏れに気づきバルブを閉める際、照明代わりにライターを着火し、引火させた疑い（毎日新聞 2003 年 3 月 10 日）」では、ヲ格で標示された「ライター」が「照明代わり」として使われている。

②「引火（する）」には、「火」を主語とし、燃えやすいものをニ格名詞句とする用法（「警視庁武蔵野署で原因を調べているが、東京ガスによると、マンション前の道路下からつながっているガス管が老朽化し、その修理工事中に何らかの火が漏れたガスに引火したらしい（毎日新聞 1993 年 2 月 1 日）」）、燃えやすいものを主語とし、「火」をニ格名詞句とする用法（「熱風がカウンター内から吹き出したことから、都市ガスが何かの火に引火したとみている（毎日新聞 1993 年 2 月 21 日）」）がある。このような交替があるので、「引火（する）」は、火がつくことを表すサ変動詞ではなく、（広い意味での）接触を表すサ変動詞と考えるべきかもしれない。

(4) 直すことを表すサ変動詞について

「修理（する）」、「修復（する）」の項の取り方の違いを明らかにした。

鍋を {修理/*修復} する。

耐熱タイルを {修理/修復} する。

鼓膜を {*修理/修復} する。

関係を {*修理/修復} する。

この分析は、次のようなデータに基づくものである。「鋳掛屋さんが鍋を {修理/*修復}

するのを小沢昭一少年が見物している和田誠の絵がまた楽しい（毎日新聞 1998 年 9 月 20 日）」、「宇宙遊泳で耐熱タイルを修理できないか（毎日新聞 2003 年 2 月 5 日）/……、軌道上での耐熱タイルの修復は不可能だという（毎日新聞 2003 年 2 月 3 日）」、「事故や病気で損傷した細胞や臓器を {*修理/修復} する再生医療が注目されている（毎日新聞 2003 年 5 月 29 日）」、「英国は欧州の一員として、関係を {*修理/修復} する宿命的な役割を負う（毎日新聞 2003 年 4 月 9 日）」。

(5) 連れて行くこと、ついて行くことを表すサ変動詞

連れて行くことを表すサ変動詞、ついて行くことを表すサ変動詞は、(A) 連れて行くことを表すサ変動詞（「引率（する）」など）、(B) ついて行くことを表すサ変動詞（「随行（する）」など）、(C) 連れて行くこともついて行くことも表せるサ変動詞（「同行（する）」など）に分類される。「帯同（する）」は、従来の国語辞典の記述（「一緒につれて行くこと」）では、(A) 連れて行くことを表すサ変動詞になるが、(C) 連れて行くこともついて行くことも表せるサ変動詞である。「日本国内では、今度の訪日に大統領が三大自動車メーカーの会長をはじめ、多くの経済人を帯同してくることに、違和感が出ている（朝日新聞 1991 年 12 月 21 日）」の「帯同（する）」は、連れて行くことを、「チームに帯同して札幌から帰阪したものの、練習には参加せず、西宮市内の病院へ直行（スポーツニッポン 2006 年 6 月 10 日）」の「帯同（する）」は、ついて行くことを表している。

(6) 『日本語の研究』の展望

『日本語の研究』の展望（「語彙（理論・現代）」）を担当し、2008-2009 年度の研究動向を把握することができた（和語動詞に比べて、漢語サ変動詞の研究が遅れていることが再確認できた）。

(7) 運ぶことを表すサ変動詞について

『類語大辞典』（講談社、2002）は、「「運搬」「運送」「輸送」の順で運ぶ規模が大きくなり、その距離も長くなることが多い」と述べているが、あくまで傾向と考えるべきだろう。「実用化は 2040 年ごろとされるが、宇宙空間に建造する発電設備は重量 2 万トンにもなるため、ロケットなどで何度も資材を運搬しなければならず、建造費用は 2 兆円以上とも試算される（毎日新聞 2003 年 11 月 23 日）」、「ロシア宇宙局管制センターによると、宇宙

ステーション「ミール」が 17 日、科学実験器具や燃料などを輸送した貨物船「プログレス M39」とのドッキングに成功した（毎日新聞 1998 年 5 月 18 日）」が示すように、地球から宇宙に運搬することも輸送することもできる。「トロッコ電車は、黒部川の電源開発のため、作業員や資材を運搬するのが目的だったが、今では観光に重点が置かれる電車にさま変わり（毎日新聞 1998 年 8 月 20 日）」の「作業員」の移動距離が「それに加えてスカイマークは満席だと 309 人もの乗客をバスで輸送しなければならない（毎日新聞 1998 年 9 月 22 日）」の「乗客」の移動距離より長くても、不思議ではない。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計 7 件）

①小林英樹、漢語サ変動詞の意味・用法の記述的研究－「運搬（する）」、「運送（する）」などをめぐって－、『語学と文学』47、28-38、2011、査読無

②小林英樹、語彙（理論・現代）、『日本語の研究』6-3、43-50、2010、査読有

③小林英樹、漢語サ変動詞の意味・用法の記述的研究－「引率（する）」、「随行（する）」などをめぐって－、『群馬大学教育学部紀要人文・社会科学編』59、1-8、2010、査読有

④小林英樹、漢語サ変動詞の意味・用法の記述的研究－「修理（する）」、「修復（する）」などをめぐって－、『語学と文学』46、1-10、2010、査読無

⑤小林英樹、漢語サ変動詞の意味・用法の記述的研究－「発火（する）」、「着火（する）」などをめぐって－、『語学と文学』45、22-32、2009、査読無

⑥小林英樹、漢語サ変動詞の意味・用法の記述的研究－「除去（する）」、「排除（する）」などをめぐって－、由本陽子・岸本秀樹（編）『語彙の意味と文法』くろしお出版、65-84、2009、査読無

⑦小林英樹、漢語サ変動詞の意味・用法の記述的研究－「新築（する）」、「増築（する）」

などをめぐって－、『語学と文学』44、1-8、2008、査読無

6. 研究組織

(1) 研究代表者

小林 英樹 (KOBAYASHI HIDEKI)
群馬大学・教育学部・准教授
研究者番号：60312865